

西表島世界遺産だより

第7号

平成31年3月発行
西表島部会
事務局

2月1日、再び世界自然遺産への推薦を行いました！

2019年2月1日、ユネスコ世界遺産センターに推薦書が提出され、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産候補地」が世界自然遺産に推薦されました。

2017年に推薦した後、2018年に一旦取り下げ、内容に修正を加えて今回再び推薦したものです。

世界自然遺産に登録されるかどうかは、2020年の夏頃に開催予定の世界遺産委員会で審議され、決定される見込みです。

前回の推薦時からの主な変更点

- ① 推薦地の見直しを行いました。
(西表島での主な変更点として、河川周辺の区域を推薦地に加えました。→下図参照)
- ② 世界自然遺産の評価基準のうち、(x) 生物多様性の価値に絞って推薦しました。

< 推薦までの検討状況 (昨年夏以降) >

9月 H30 第2回西表島部会

11月 H30 沖縄ワーキンググループ

12月 H30 第2回科学委員会

12月 H30 第3回西表島部会

12月 H30 第2回地域連絡会議

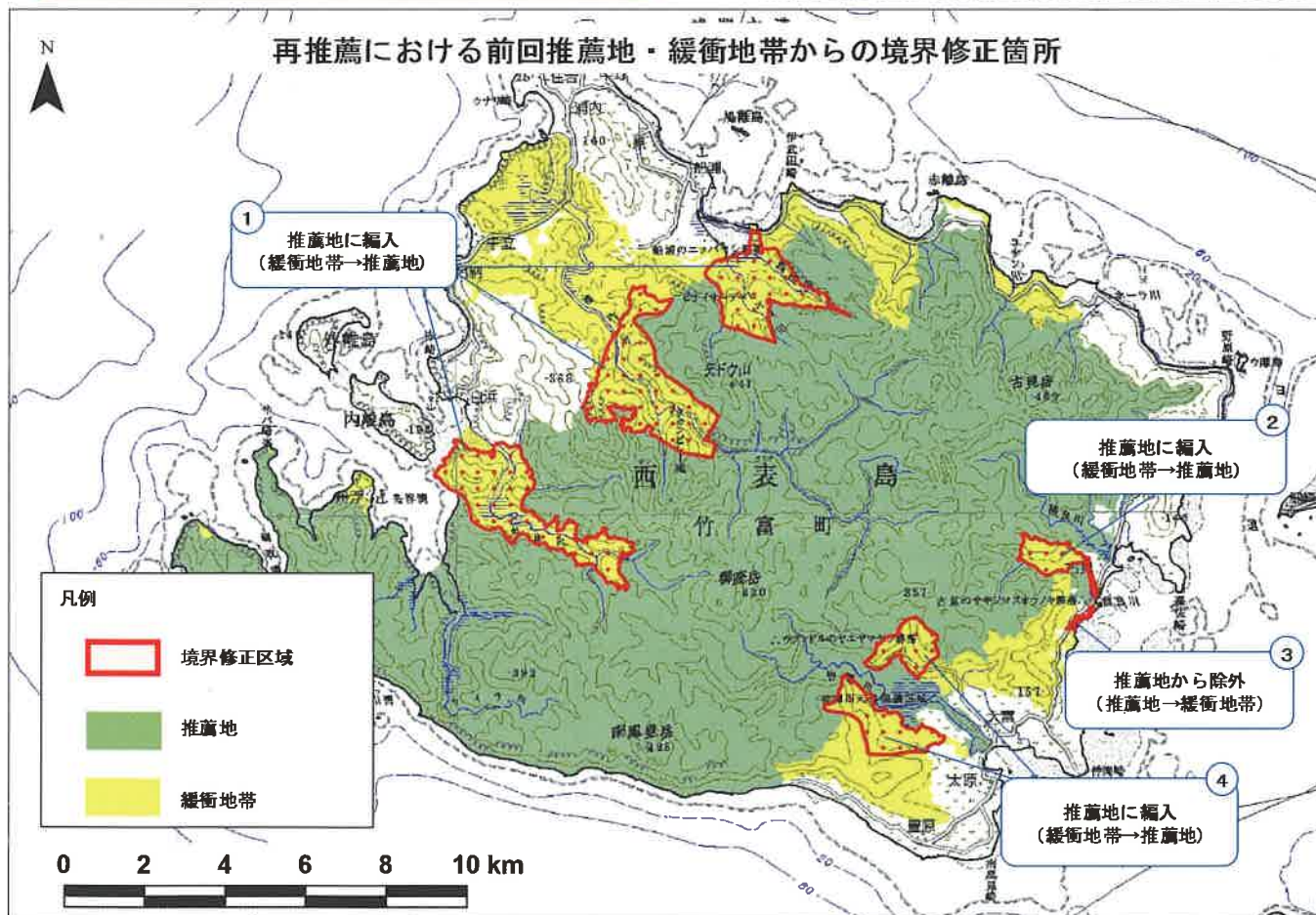
2019年
2月1日 推薦書提出

(右：推薦書表紙)

2020年
夏頃 登録可否決定



再推薦における前回推薦地・緩衝地帯からの境界修正箇所



世界自然遺産と西表島の未来について、意見交換会を開催しました

昨年の11月に、西表島内の6つの小学校区それぞれで、地域住民の皆さまを対象とした意見交換会「一緒に考えよう！西表島の未来と世界自然遺産」を開催し、あわせて113名の方にご参加いただきました。行政機関からは、環境省、林野庁、沖縄県、竹富町が参加しました。

プログラムの前半では、皆様から寄せられた西表島の課題への対応状況・方針や、世界遺産に関する取り組みの状況について行政機関からご説明しました。後半はグループに分かれて、これからの西表島の理想像について話し合った後、その中からテーマを一つ選んで、実現するための取り組みについて意見交換を行い、グループごとに発表しました。

各会場の様子と話し合われたテーマ、皆様から出された意見の例を、一部ですがまとめました。より詳しい内容は、裏面記載のHPに掲載する他、野生生物保護センターや竹富町役場及び出張所などで閲覧できます。

今後も住民の皆様との意見交換の機会を作りたいと考えております。

■開催概要

開催日	会場	参加者
11/15	竹富町離島振興総合センター	22人
11/16	祖納公民館	20人
11/17	白浜海人の家	14人
11/18	古見の浦の里	8人
11/21	船浮多目的施設	13人
11/22	上原多目的集会施設	36人

■プログラム（各会場共通）

第1部) 西表島の抱える課題と世界自然遺産に向けた取組

- ①住民説明会などでいただいた意見への取組状況や今後の方針について
- ②世界自然遺産の登録に向けた取組状況について

第2部) 意見交換

- ①これからの西表島はどんな島であって欲しい？
- ②そのために、世界自然遺産を活かして実現できることは？

会場：竹富町離島振興総合センター



<話し合われたテーマと、主な意見>

- ①西表島エコアイランド計画
→自然エネルギー自給率UP！ゴミをエネルギーに変える。
- ②自然をどう守るか
→トラストで土地を確保して自然を守る
- ③観光と第六次産業
→特産品の開発。西表の水、ヤマネコの水ブランド化など
- ④ペットボトル撤廃のモデルケースに
→ペットボトルの代わりにかっこよくて何度も使える専用ボトルを作り、島内各所で水などを購入して汲めると良い。

会場：祖納公民館



<話し合われたテーマと、主な意見>

- ①節物作（しちしちむじぐ）・季節のある暮らし
→自然の素材を活かし、地元の特産品を開発し、伝統芸能館併設の道の駅で売る
- ②子ども～老人が笑顔に
→子どもから老人まで参加して交流できるような運動イベントや発表会などの開催
- ③地元の子供たちが働ける西表島（特にガイド業）
→子供ガイドの育成と専用通貨の仕組み作り
- ④祖納・干立のように（伝統・文化の継承）
→語り継ぎや後継者の育成、住環境整備

会場：白浜海人の家



<話し合われたテーマと、主な意見>

- ①昔の島を取り戻すために
→公民館活動や小さな活動から地域のつながりを強化する。イベントではなく祭事が大事。
- ②海の環境をよくする
→高性能なゴミ処理施設で漂着ゴミを効率的に処理。ウミショウブなどの藻場を守るためのウミガメの適正な管理。
- ③子どもたちが帰って来たい島
→地域の保育所の復活や共同売店で子育てのしやすい環境をつくる。山菜や独自の農産物を活かして仕事をつくる。

会場：古見の浦の里



<話し合われたテーマと、主な意見>

- ①ゴミのない島
→回収された漂着ゴミをリサイクルセンターの受け入れや仮置きボックスを作るなど、ボランティアの回収ゴミをより簡易（システムティック）に処理できる仕組みを作る。
- ゴミは宝！！換金資源として価値づける。リサイクル・リユースの推進や、重量で買い取る仕組みを作るなど。
- 観光客に、島外ゴミ持ち帰り用の袋を配布したり、マイカップ持参者にサービスしたりする。

会場：船浮多目的施設



<話し合われたテーマと、主な意見>

- ①子どもが多い島
→土地を開拓して、若者や家族連れが住める家を確保し、企業誘致や特産品により仕事を確保する。
- ②産業の振興と自然保護の両立
→船浮の自然を活用したあらたな産業づくり。自然や歴史文化のガイド、自然の産物の販売など。
- ③自然の恵みが豊かな島
→禁漁期間や禁漁区を設けて資源を休ませながら利用し、地産地消で地元のをホテルなどでも使ってもらおう。

会場：上原多目的集会施設



<話し合われたテーマと、主な意見>

- ①観光だけの島にしない
→観光と農業体験や草刈りを結びつける
- ②道路に雑草がない
→入域料等を活用して「食べる」草刈り増
- ③車を減らし公共の乗り物を
→便利・エコ・魅力的な公共交通の推進
- ④（まとめられない）
→優良ガイドのリストアップ など
- ⑤人と自然が共存できる島
→里山や水田を保全しつつお金が入る仕組み
- ⑥教育
→高校教育などを含めて選択肢を増やす

世界自然遺産に関する普及啓発の取り組みを進めています。

世界自然遺産候補地のホームページができました

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産候補地に関する情報をまとめたホームページが開設されています。推薦地である4地域の特徴や、世界遺産に関するパンフレットや映像、推薦地の自然を守るための検討が行われている各種会議の記録などがまとめて載っています。2月1日に提出された推薦書や、西表島行動計画をはじめ管理計画についてご覧になることができますので、ぜひ下記のURLからアクセスしてみてください。

ホームページのURL：<http://kyushu.env.go.jp/naha/amami-okinawa/index.html>

「西表島マナーブック」を作成、配布しています。

観光客向けのマナーブック「西表島の自然を子どもたちへ守り継ぐために」を作成しました。ゴミを持ち帰ることや車の制限速度を守ることなど、西表島を観光で訪れるにあたって守るべきルールやマナーをとりまとめたものです。船会社やJTAの協力を得て、チケットの購入時に全ての来訪者へ手渡しで配布することとしています。



世界自然遺産候補地のホームページ



西表島マナーブックの表紙

西表島の観光管理に関するシンポジウムを開催予定です。

西表島における観光のルールづくりの取り組みや、自然環境や地域と調和した観光のあり方をテーマとしてシンポジウムを開催いたします。ぜひご参加ください。(参加費無料)

日時	平成31年3月16日(土) 13:30~16:00
場所	中野わいわいホール
申込	不要 (直接会場にお越しください。参加費無料)

